

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

1. 経営戦略の改定にあたって

(1) 改定の趣旨

下水道事業は、将来にわたって住民生活に不可欠なサービスを安定的に提供し続ける役割を担っています。
甘楽町では、平成28年度に「経営戦略」を策定しましたが、その後の**物価高騰や人口減少の加速**など、事業を取り巻く環境は大きく変化しています。
こうした状況を踏まえ、**現在の経営実態に即した財政の見通しを立てる**ため、経営戦略の改定を行いました。

(2) 今回の改定における主な内容

持続可能な事業運営に向け、これまでの実績や現状に基づき、以下の見直しを行いました。

- ・**経営状況の可視化**：直近の決算数値に基づき、**現在の収入と支出の内訳を整理**し、経営の健全性を改めて確認しました。
- ・**将来の更新費用の試算**：現時点で把握している施設の状況に基づき、将来必要となる**下水道施設の取替え・修繕にかかる費用の見通し**を投資計画に反映しました。
- ・**現状に即した計画策定**：今後の財政状況を分析し、**甘楽町の実情を反映した、より現実的な計画**として取りまとめました。

(3) 計画の期間：令和7年度から令和16年度までの10年間

本経営戦略は、町の総合計画等との整合を図りつつ、中長期的な経営の基本計画として活用します。

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

2. 下水道事業の現状と将来予測

(1) 現状：整備の進展と財務の状況

令和6年度からの「公営企業会計」への移行により、経営状況がより透明化されました。
現在の健全性を維持するための状況は以下の通りです。

・普及・接続の状況（グラフ：接続率の推移）

これまでの整備により、下水道を利用できる区域や接続世帯数は着実に増加しています。

現在は、将来にわたって安心・安全に使い続けられるよう、施設を適切に点検・補修していく「維持管理を中心とした運営」へと重点を移しています。

・財務の状況（グラフ：企業債残高の推移）

施設等のために借入れた「企業債（借入金）」の残高は、計画的な返済により減少しています。
将来世代に過度な負担を残さないよう、今後も健全な財政運営を継続します。

・経営の構造

日々の運営にかかる経費や借入金の返済は、本来、皆様からいただく「使用料」で賄うことが原則です。
しかし現状は、不足分を「一般会計（町の税金）」からの繰り入れに依存している構造にあります。
会計移行に伴う見直しにより、自立した経営に向けた現在の立ち位置が明確になりました。

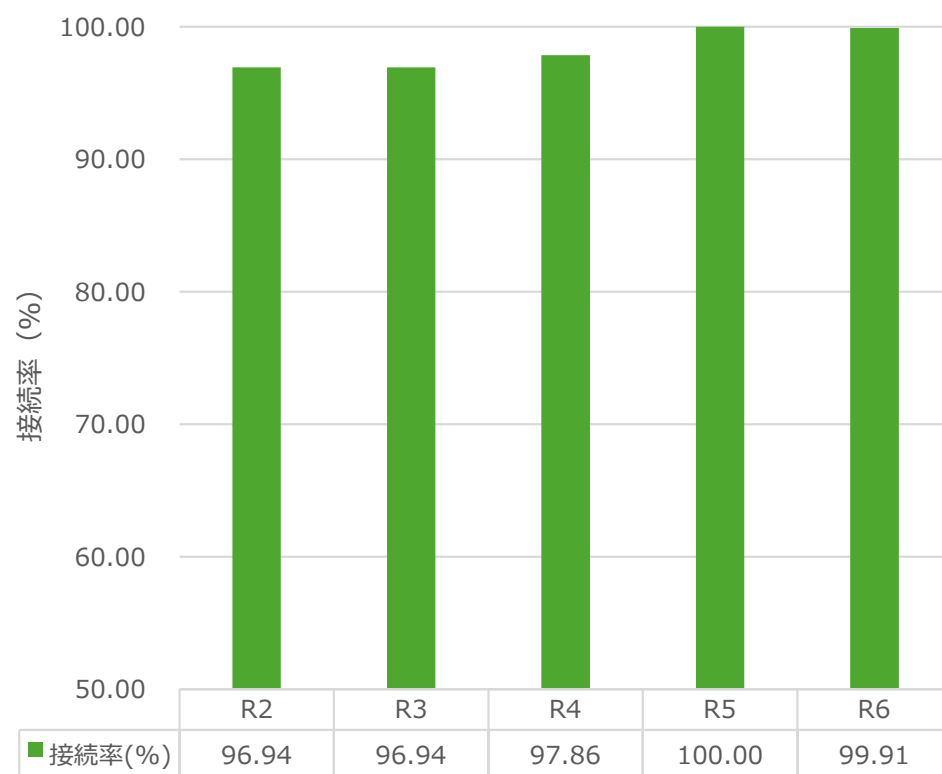
甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

2. 下水道事業の現状と将来予測

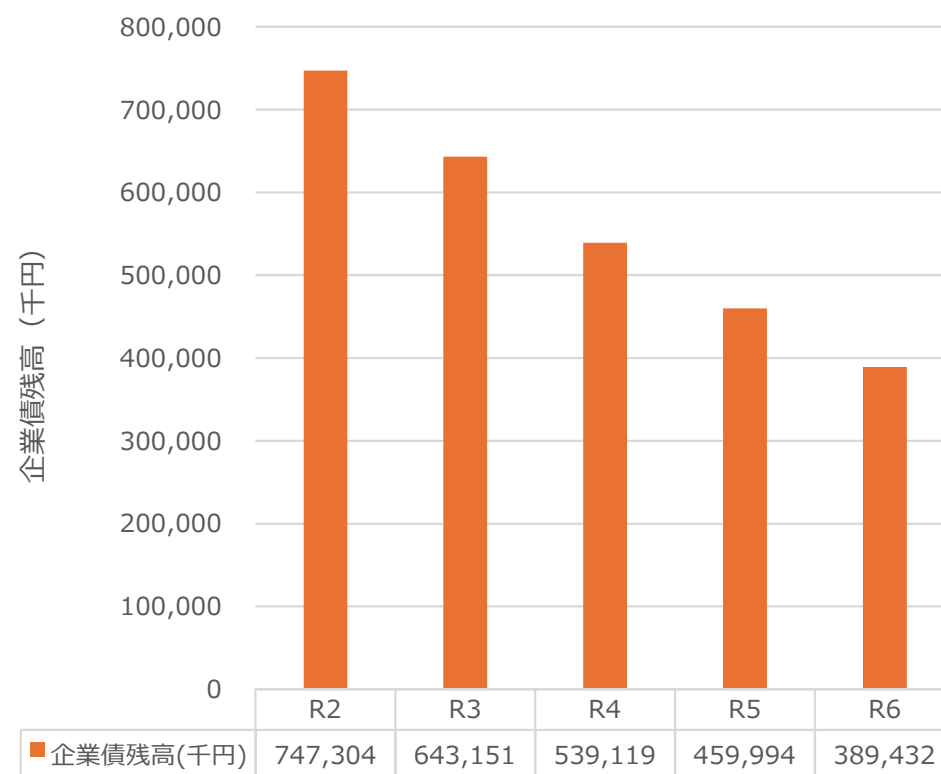
【公共下水道】

接続率はほぼ100%に達し、借入金（企業債）は順調に減少しています。

接続率の推移



企業債残高の推移



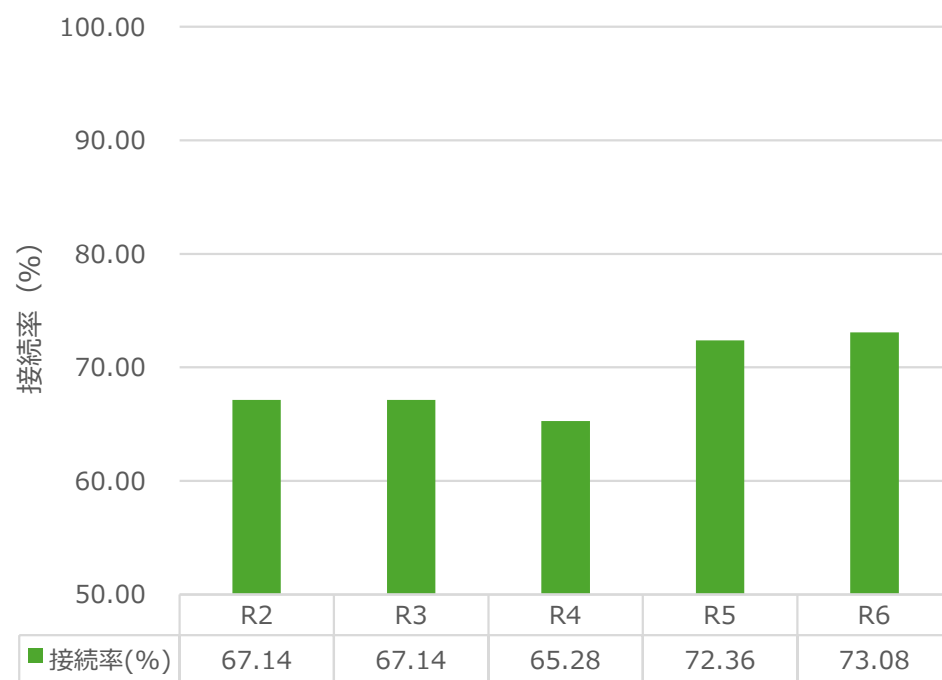
甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

2. 下水道事業の現状と将来予測

【特定環境保全公共下水道】

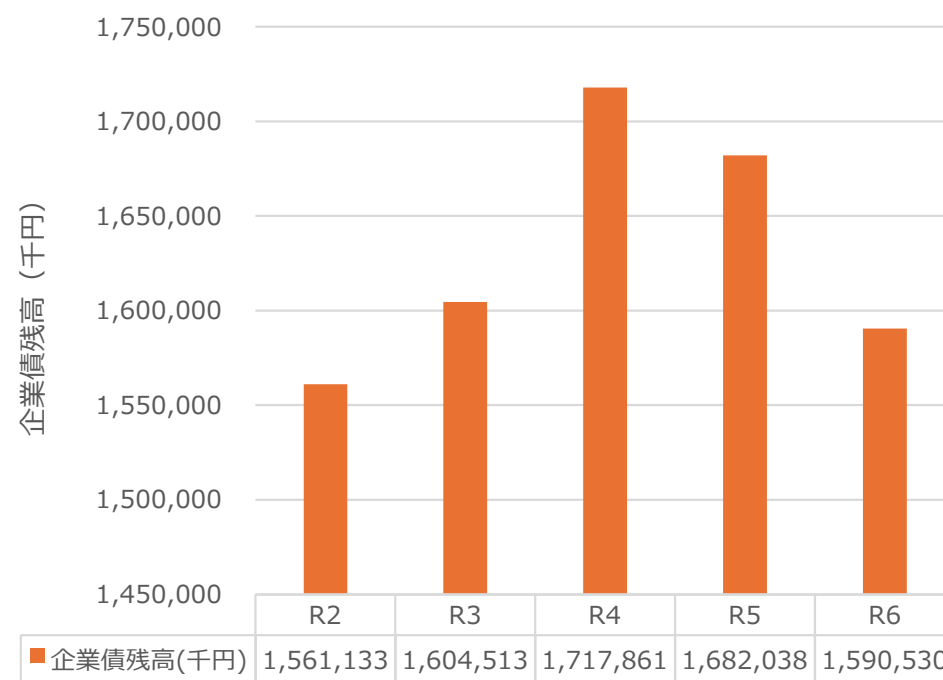
接続率は着実に向上していますが、借入金残高は高い水準が続いています。

接続率の推移



※令和3年度～5年度の変動については、農業集落排水区域の一部が統合されたことに伴うものです。

企業債残高の推移



※令和3年度～4年度の残高増加については、農業集落排水区域の一部が統合されたことに伴い、施設の整備等を実施したためです。

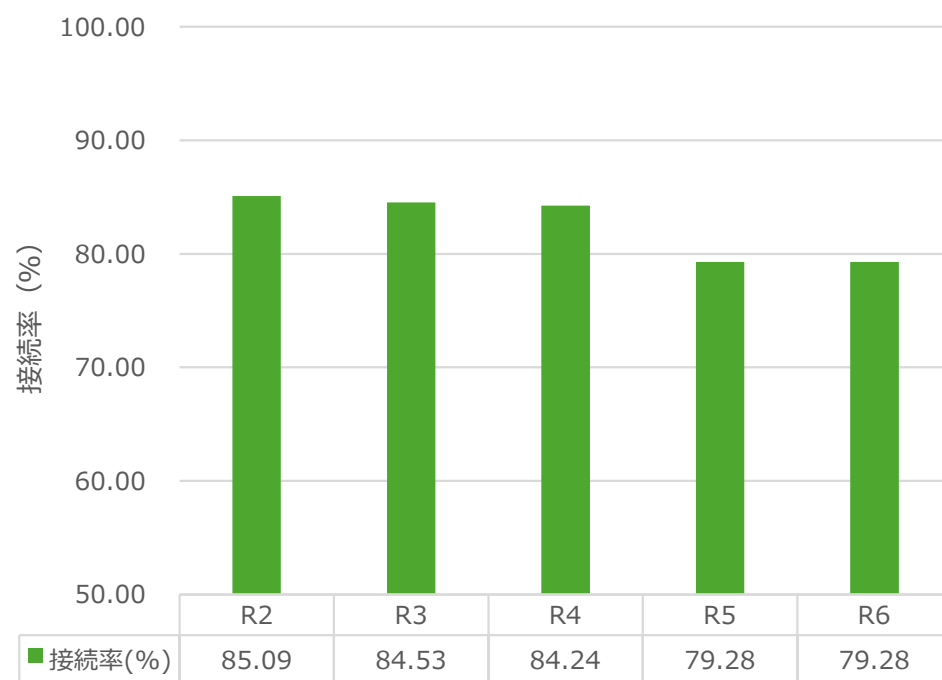
甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

2. 下水道事業の現状と将来予測

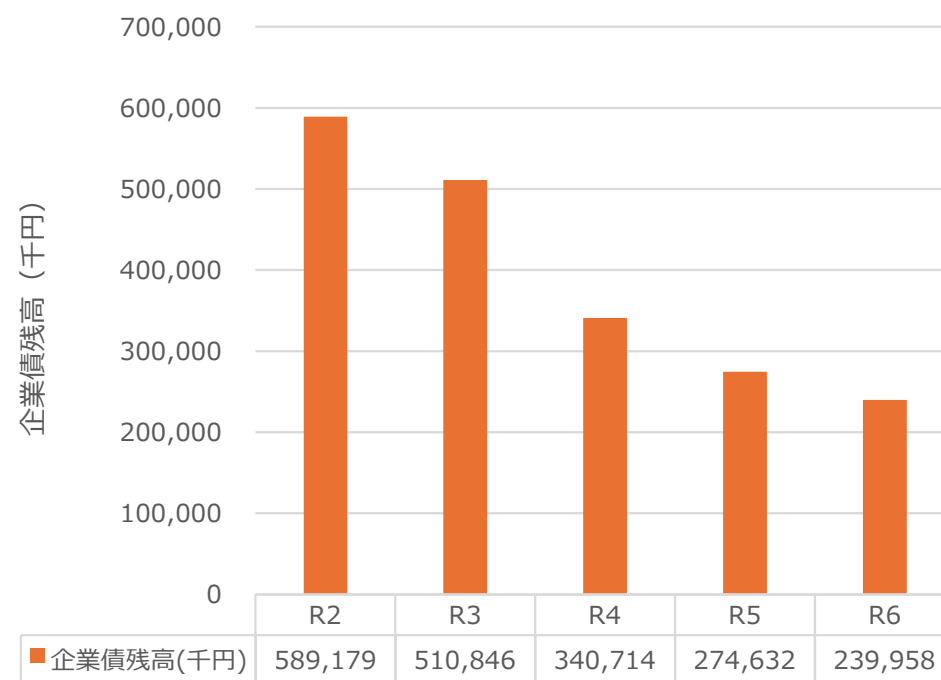
【農業集落排水】

借入金（企業債）残高は大幅に減少しており、経営の健全化が進んでいます。

接続率の推移



企業債残高の推移



※令和3年度～5年度の数値の変動は、一部区域が特定環境保全公共下水道へ統合されたことに伴うものです。

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

2. 下水道事業の現状と将来予測

(2) 将来予測：人口減少による収支の見通し

慎重な経営判断を行うため、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)のデータを採用し、収支を推計しました。

人口と水量の減少：

全事業で人口減少が予測されており、有収水量（下水道の使用量）は長期的には減少傾向となります。

将来の人口推計（令和16年度）

公共下水道 約4,400人／特定環境保全公共下水道 約4,600人／農業集落排水 約1,400人

使用料収入の見通し：

人口減少の影響を受け、令和16年度の使用料収入は令和7年度と比較して、約11%減少する見込みです。

- ・公共下水道 : 約6,370万円（10.7%減少）
- ・特定環境保全公共下水道 : 約4,170万円（10.7%減少）
- ・農業集落排水 : 約1,130万円（10.6%減少）

資金残高の見通し：

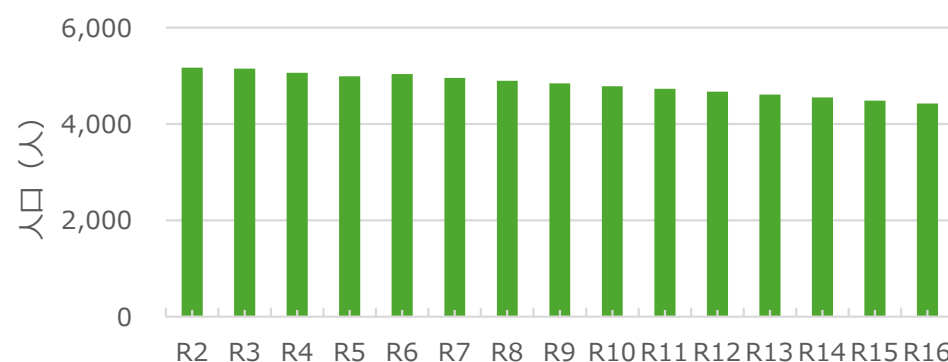
収入が減る一方で、過去の借入金の返済や、古くなった施設の維持管理には、今後も費用が必要になります。将来にわたってサービスを継続できるよう、自立した経営への転換が求められます。

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

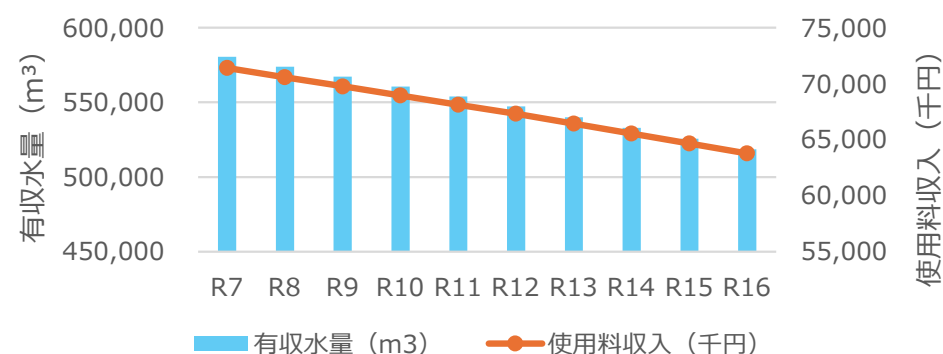
2. 下水道事業の現状と将来予測

公共下水道

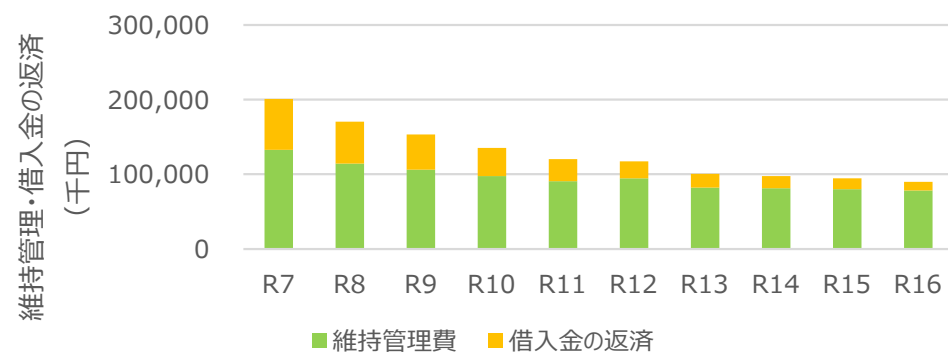
処理区域内の人口推移と予測



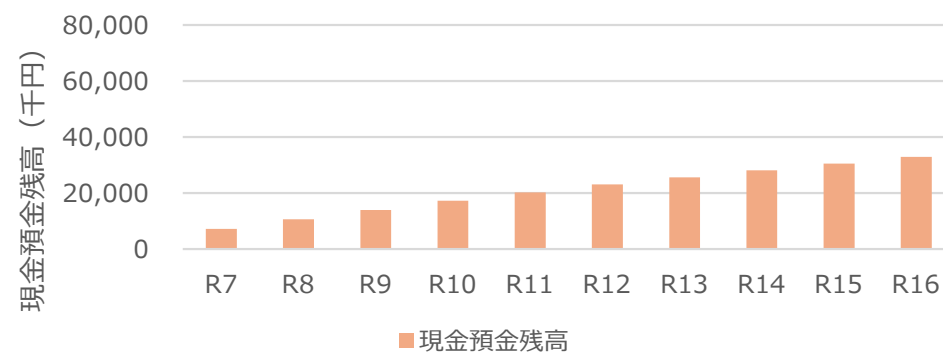
有収水量・使用料収入の予測



今後の支出予測



現金預金残高の予測 (繰入金を含む)

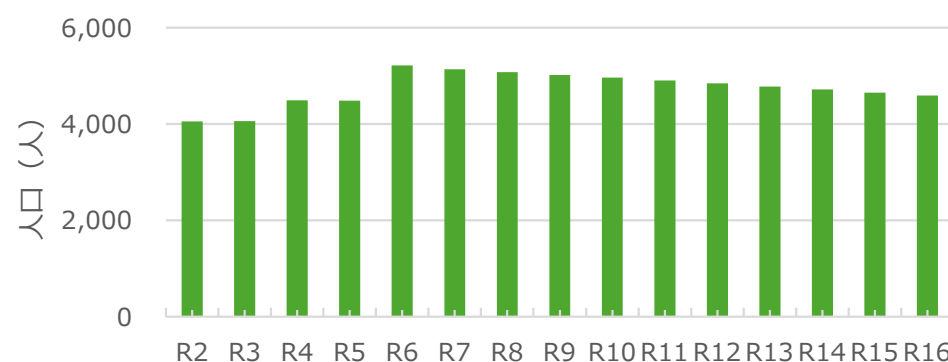


甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

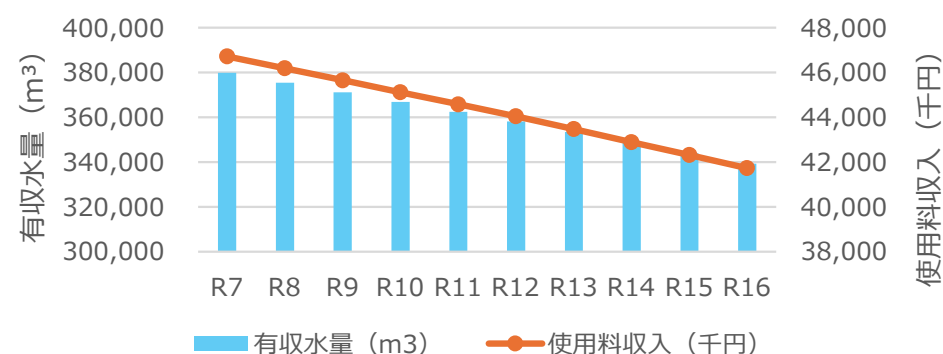
2. 下水道事業の現状と将来予測

特定環境保全公共下水道

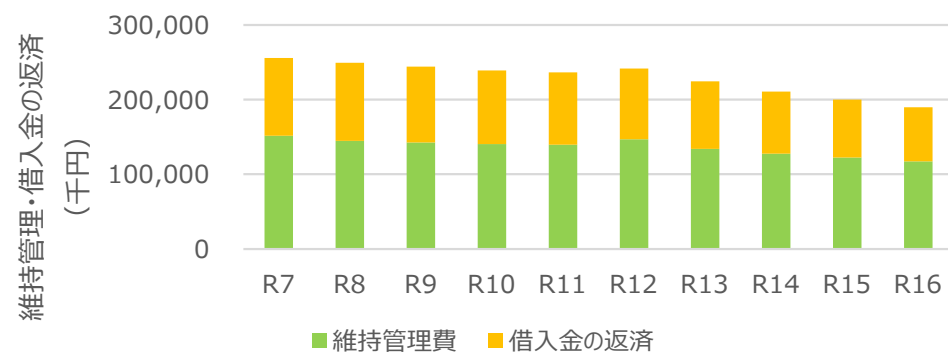
処理区域内の人口推移と予測



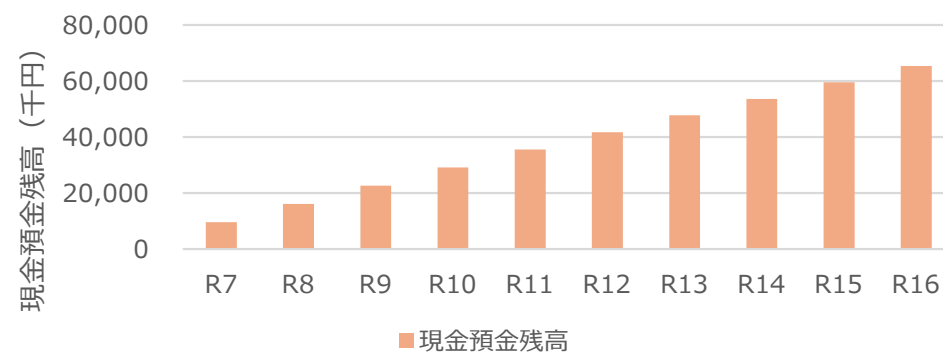
有収水量・使用料収入の予測



今後の支出予測



現金預金残高の予測 (繰入金を含む)

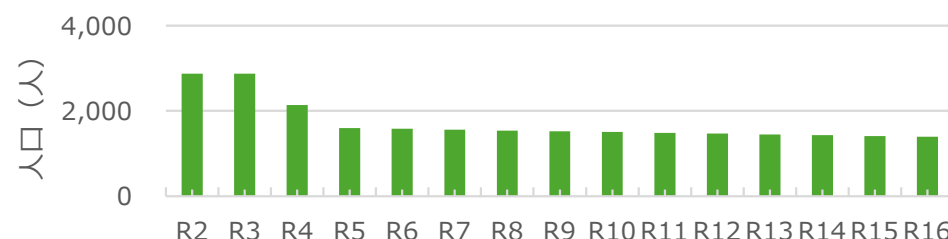


甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

2. 下水道事業の現状と将来予測

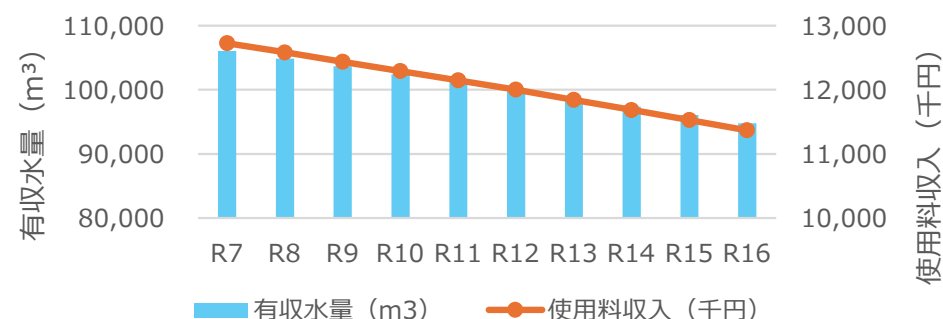
農業集落排水

処理区域内の人口推移と予測

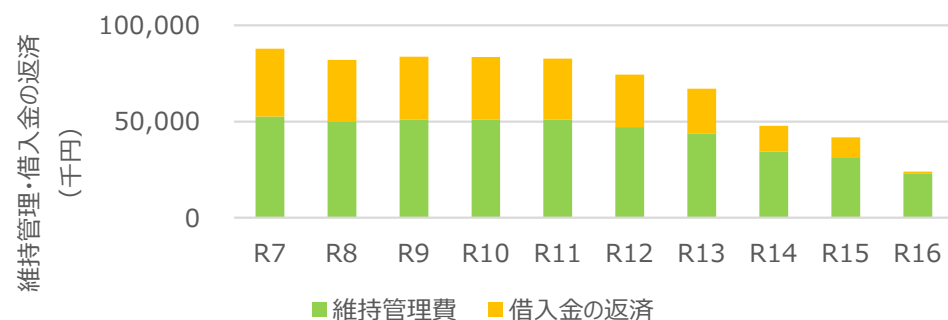


※令和3年度～5年度の人口減少については、一部地区が特定環境保全公共下水道へ統合されたことに伴う減少です。

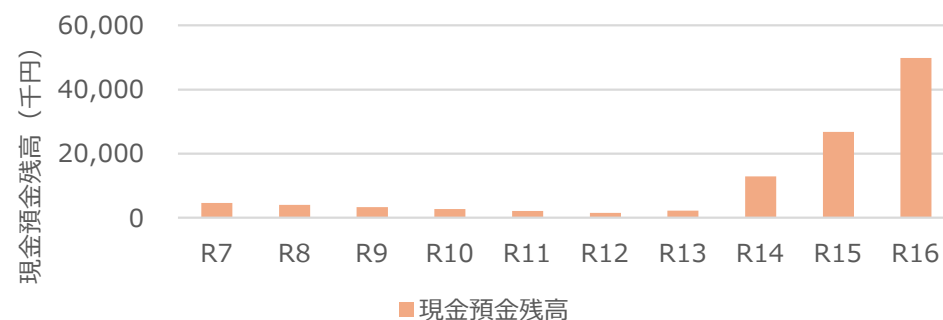
有収水量・使用料収入の予測



今後の支出予測



現金預金残高の予測（繰入金を含む）



※令和9年度に特定環境保全公共下水道への統合を予定していますが、他の下水道事業と同じ期間の将来予測を行いました。

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

3. 経営の課題

将来にわたり安定したサービスを継続するため、各事業の特性に合わせた課題に取り組みます。

①自立した経営への歩み (共通の課題)

- ・現在の経営は、皆様からいただく「下水道使用料」だけでは汚水処理の費用を賄いきれず、不足分を町の税金（一般会計からの繰入金）で補っている状態です。
- ・会計移行により経営状況が可視化された今、安定した経営基盤の構築が求められています。

②収支バランスの適正化 (主に公共下水道)

- ・接続率がほぼ100%に達しており、今後の大幅な収入増加は見込めません。
- ・一方で、今後は施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が見込まれるため、徹底したコスト削減とともに、将来の更新費用をどう確保していくかが課題となっています。

③利用の促進と運営の効率化 (主に特定環境保全公共下水道)

- ・借入金残高が高い水準にあり、接続率の向上が不可欠です。
- ・未接続の方々へ丁寧な接続のお願いを継続するとともに、農業集落排水事業の統合をステップとした、より効率的な運営体制を目指します。

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

4. 経営の基本方針と取り組み（4つの改善策）

課題の解決に向け、「支出の抑制」と「収入の確保」に取り組み、自立した経営基盤の構築を目指します。

改善策の項目	具体的な取り組みの内容	対象となる下水道事業	
		公共下水道	特定環境保全 公共下水道
【改善策1】 使用料の見直し	自立した経営基盤を築くため、慎重な検討を行い、 令和10年度から使用料単価1.22倍への引上げ を目指します。	●	●
【改善策2】 広域化・共同化	令和9年度に予定している 農業集落排水事業との統合 に合わせ、施設管理の一体化による維持管理の効率化を図ります。	—	●
【改善策3】 官民連携の導入	民間事業者のノウハウを活用する「 包括的民間委託(PPP/PFI) 」の導入(令和10年度仮定)を検討し、維持管理コストの削減を図ります。	●	●
【改善策4】 接続率の向上	毎年1%（約23件）の接続増加 を目標に掲げます。 多くの方にご利用いただくことで、収益基盤の維持・確保に努めます。 ※公共下水道は接続率がほぼ100%のため、現在の維持を基本とします。	—	●

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

5. 経営目標と進捗管理（今後の取り組み）

本経営戦略の実効性を確保するため、ロードマップに基づいた進捗管理（PDCA）を実施します。

①経営改善に向けたロードマップ

1) 公共下水道事業

- ・前期（R7～R10）：**収入の適正化とコスト縮減**
慎重な検討を経て使用料改定を目指すとともに、民間活用の導入による維持管理コストの削減を推進します。
- ・中間検証（R12）：**経営状況の評価**
各施策の効果を精査し、中長期的な経営の安定性を確認します。
- ・後期（R13～R16）：**健全な経営体制の確立**
検証結果に基づき、一般会計からの繰入金を計画的に削減し、自立した財政基盤を構築します。

項目		実施時期	実績	前期					検証	後期				
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
経営戦略	改定・見直し			改定 ▼						見直し ▼				
経営目標	経費回収率(%)		80.7	→					95.0	→				100.0
	基準外繰入金(千円)		14,847	→					0	→				0
改善策	改善策の実施			継続実施										
	下水道使用料の引上げ（改善策1）			町内検討・調整 →						適正化				
	PPP/PFI制度の活用（改善策3）			導入検討 →						運用				

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

5. 経営目標と進捗管理（今後の取り組み）

本経営戦略の実効性を確保するため、ロードマップに基づいた進捗管理（PDCA）を実施します。

①経営改善に向けたロードマップ

2) 特定環境保全公共下水道事業

- ・前期（R7～R10）：**事業の統合と運営の適正化**
農業集落排水事業との統合、民間活用によるコストの削減、使用料改定や接続促進を推進します。
- ・中間検証（R12）：**経営状況の評価**
各施策の効果（事業統合・接続状況等）を精査し、中長期的な経営の安定性を確認します。
- ・後期（R13～R16）：**健全な経営体制の確立**
検証結果に基づき、一般会計からの繰入金を計画的に削減し、自立した財政基盤を構築します。

項目		実施時期	実績	前期					検証	後期					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
経営戦略	改定・見直し			改定 ▼						見直し ▼					
経営目標	経費回収率(%)	85.4								63.0					67.0
	基準外繰入金(千円)	14,431								20,000					15,000
改善策	改善策の実施		継続実施												
	下水道使用料の改定検討（改善策1）		町内検討・調整						適正化						
	広域化・共同化（改善策2）		設計・工事		広域化										
	PPP/PFI制度の活用（改善策3）		導入検討					運用							
	接続率の向上（改善策4）		普及促進・未接続世帯へ説明等の継続実施												

甘楽町 公共下水道事業経営戦略改定【概要版】

5. 経営目標と進捗管理（今後の取り組み）

本経営戦略の実効性を確保するため、ロードマップに基づいた進捗管理（PDCA）を実施します。

②主要経営指標（KPI）によるモニタリング

経営の健全性を測る「物差し」として、毎年度の決算事務に合わせ、以下の指標を確認・公表します。

- ・経費回収率、基準外繰入金、接続率など

予測と実績に大きな乖離がある場合には、その要因を把握し、次年度以降の円滑な事業運営に役立てます。

③計画の定期的な見直し（PDCA）

社会情勢の変化等に対応するため、以下の通り計画の見直しを行います。

- ・中間検証（令和12年度）：各改善策の効果を検証し、最新の収支状況に基づいた経営体制の再整備（最適な判断）を行います。
- ・ローリングの実施：3～5年を目安に、社会情勢の変化に応じた計画の見直しを継続的に行います。

